

名古屋城外堀でコオイムシを採集

中村 肇

なごや生物多様性センター 〒468-0066 愛知県名古屋市天白区元八事五丁目230番地

Record of *Appasus japonicus* in the Nagoya Castle Moat,
Nagoya, Aichi, Japan

Hajime NAKAMURA

Nagoya Biodiversity Center, 5-230 Motoyagoto, Tempaku, Nagoya, Aichi, 468-0066, Japan

Correspondence:

Hajime NAKAMURA E-mail:nakamura@tameike.info

採集報告

コオイムシ *Appasus japonicus* は、カメムシ目コオイムシ科に属する水生昆虫の一種である。体長は17~20mm, 黄褐色ないし暗褐色でほぼ卵形で扁平。前脚は捕獲脚となるが余り太くなく爪は2個, 中・後脚は遊泳脚となる。付節はすべて円筒形で3節よりなり, 第1節は痕跡的。口吻はやや長く, 第2節は末端節より著しく長く, その基部は細くなる。尾端に伸縮自在の短い呼吸器官がある。水田・池沼などの静水にすみ, 初夏の頃♀は♂の背中に卵を産みつける奇習がある(平嶋・森本(監修), 2008)。

筆者は, 2012年11月15日, 名古屋城外堀において, ヨシ等の植物遺骸が堆積する浅瀬で越冬中のコオイムシ(図1)を採集したので報告する。

なお, 本調査で採集した標本は「なごや生物多様性センター」に納め, 登録標本(NI-220-00950-02304)とした。



図1. 採集したコオイムシの標本

コオイムシ:

採集地: 愛知県名古屋市中区 名古屋城外堀

採集者: 中村 肇

採集日: Nov. 15, 2012

引用文献

平嶋義宏・森本桂(監修). 2008. 新訂原色昆虫大図鑑 第III巻, pp.176. 北隆館, 東京.